

# いろいろが たのしい



川口市男女共同参画啓発誌

## いろいろちがいがあって いいじゃない

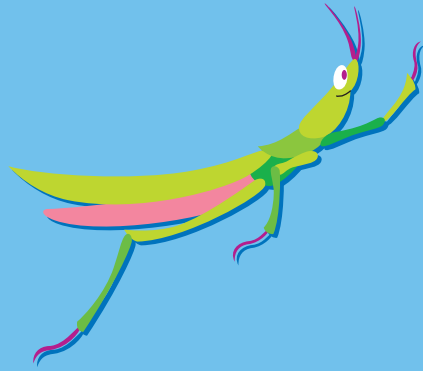
子どもたちには、個性や持っている力をのびのびと発揮して育ててほしい。それは親だけでなく、社会全体の願いでもあります。どんな子でも、その子が「好き」とか「自分らしい」と思えるって素晴らしいことです。

また、女の子とか男の子とかに関係なく、みんなが大切な一人であり、みんな違ってあたり前で、それぞれのよさが認め合える社会になってほしいものです。

さあ、「自分らしく」それぞれの個性を大切にすることが描かれている部分を、この絵本で一緒に探してみませんか。

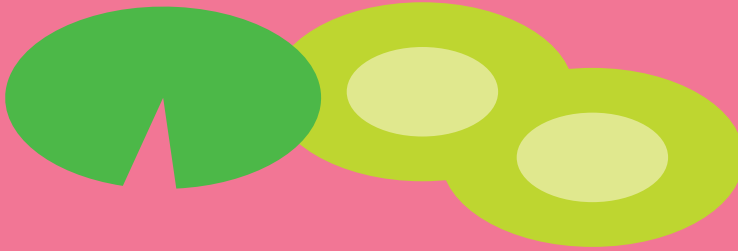
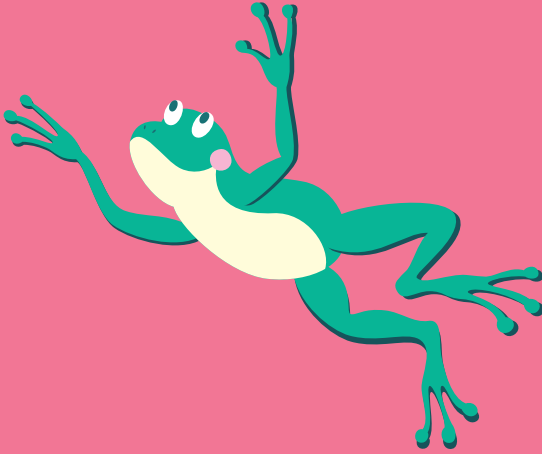
# いろいろがたのしい





ばったが  
じゃんぷ!!

かえるが  
じゃんぷ!!



ねこが  
じゃんぷ!!



いぬが  
じゃんぷ!!

きみは？

ちょっとおやすみしているの

さかなが  
じゃんぷ!!



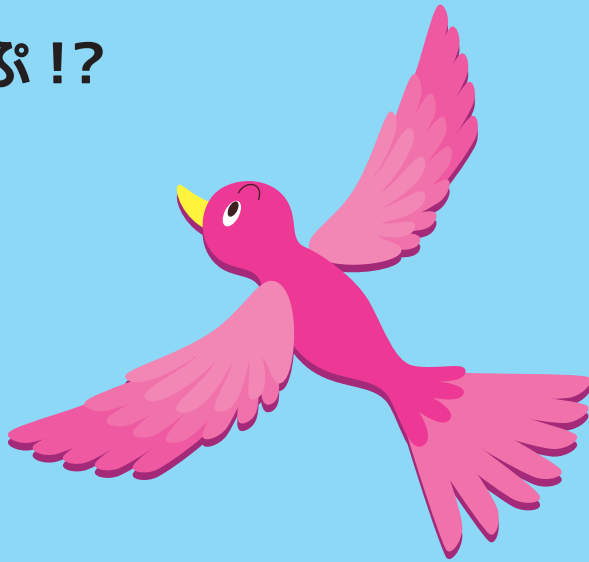
かめは？

ひなたぼっこをしているの





ことりが  
じゃんぷ!?



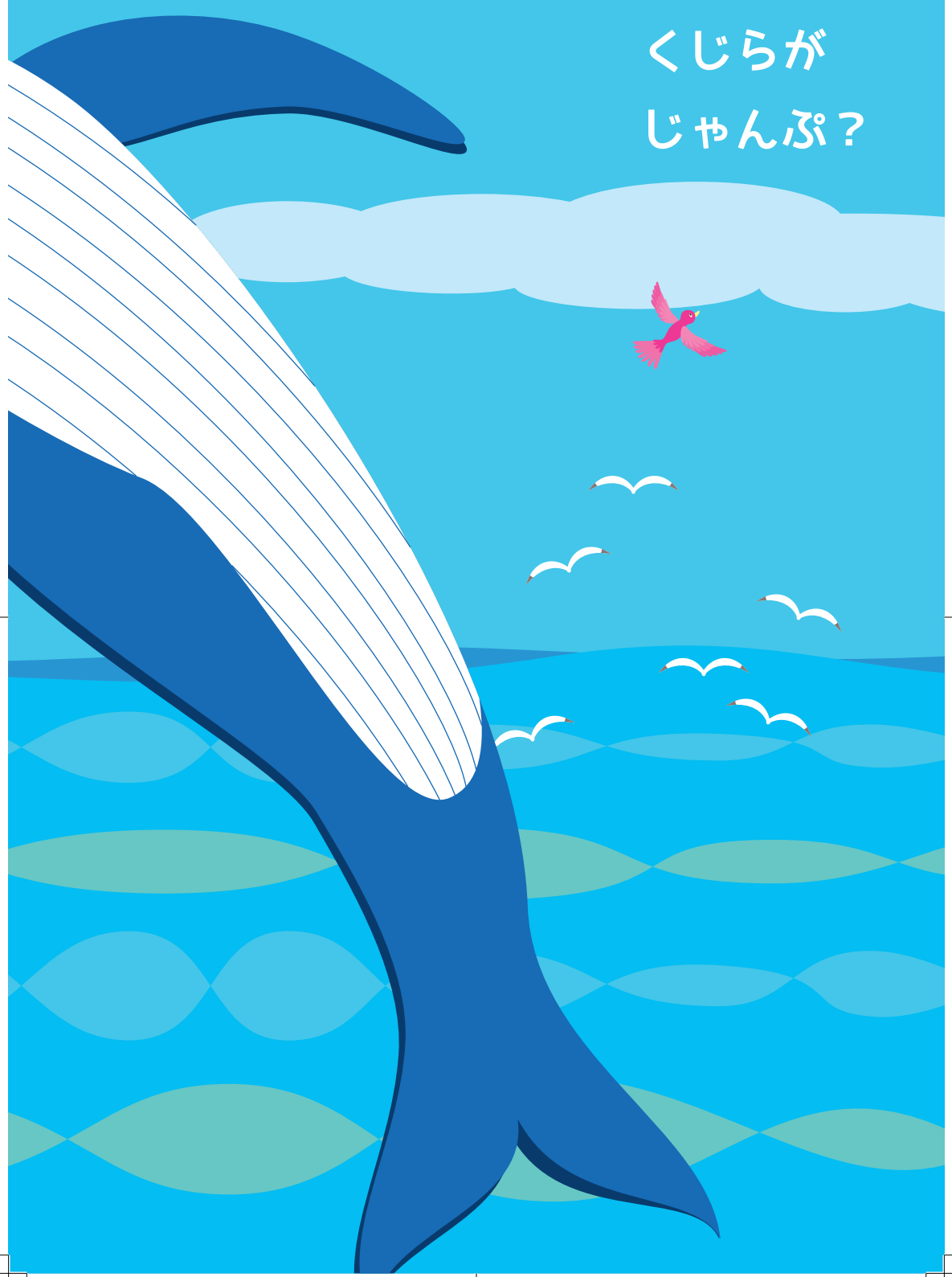
あっ!

とんでっちゃった





くじらが  
じゃんぷ？



わたしも  
じゃんぷ!!



ぼくも  
じゃんぷ!!





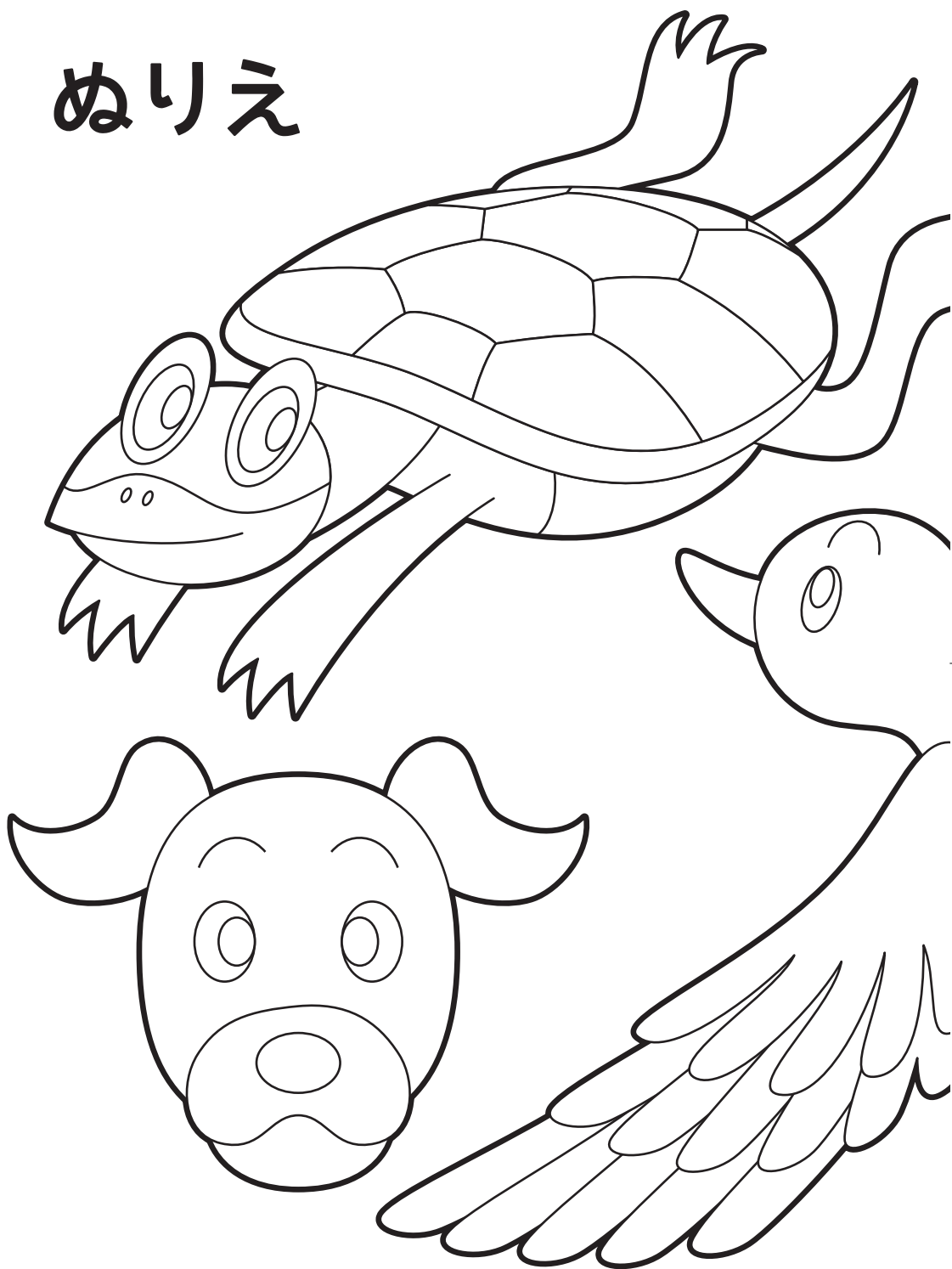


みんなで

じゃんぷ!!

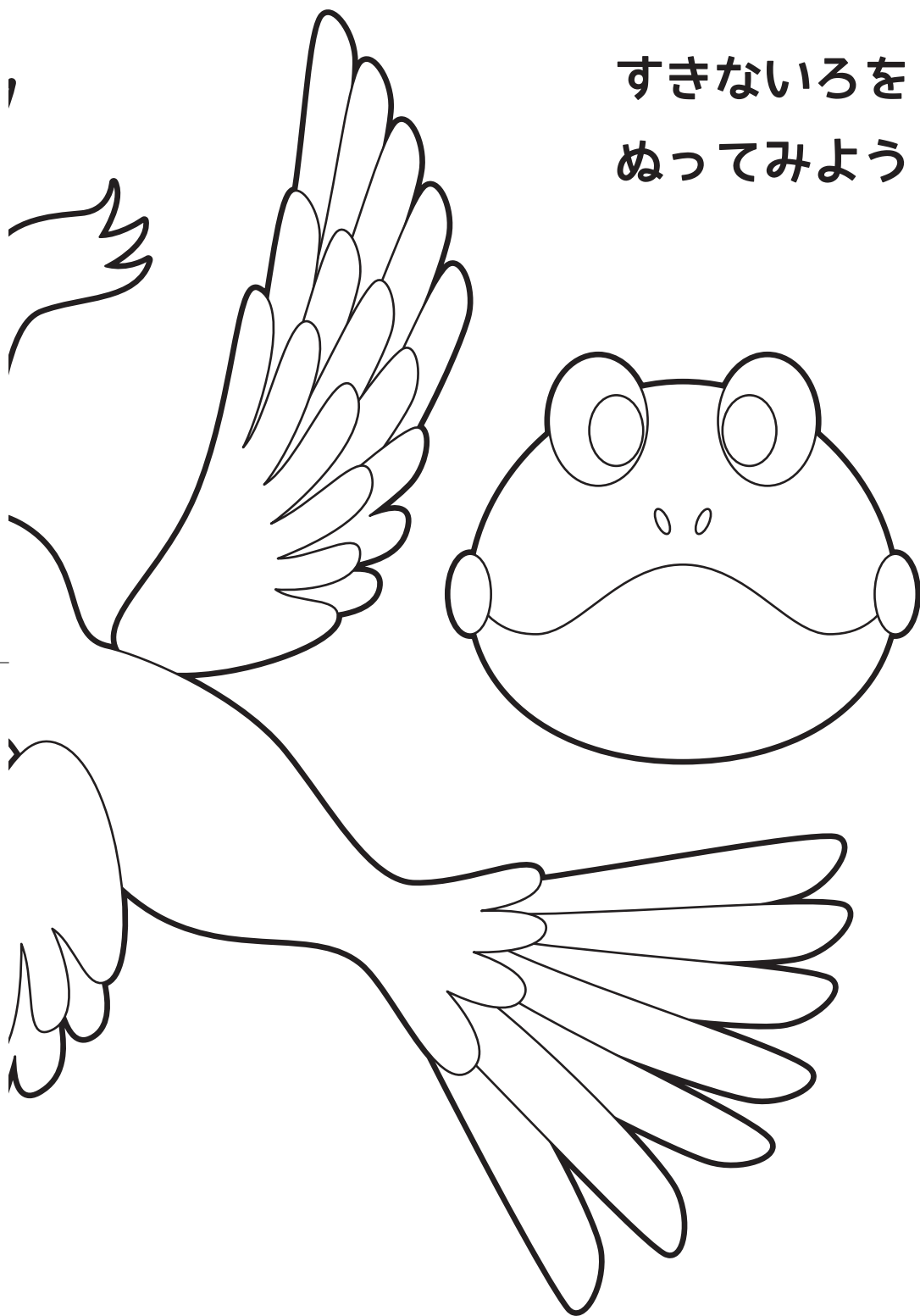
みんないろいろ

ぬりえ





すきないろを  
ぬってみよう



みんなで  
かんがえて  
みよう



おんなのこの  
すきないろは、  
ぴんく ?

おんなのこが  
しんかんせんの  
うんてんしゅには  
なれない ?



おとこのこが  
ほいくしさんには  
なれない ?

おとうさんが  
りょうりを  
つくるのは  
おかしい



おとこのこは、  
みんなのまえで  
ないてはいけな



おかあさんが  
しごとをするのは  
おかしい



「じぶんらしさ」が  
たいせつだよ！

# 自分らしく 生きることの大切さ

埼玉大学経済学部教授 金井 郁（かない かおる）



## 男女共同参画社会とは

男女共同参画社会とは、女性も男性も、性別にかかわらず、誰もがその人らしく伸びやかに生きられる社会を目指しています。男女共同参画社会の実現には、男／女に「生まれたから」といって、社会的・文化的につくられた性別による役割を担うことを当然とするのではなく、私たちの生き方は制限されないという視点を持つことが重要です。男女ともにお互いの個性を尊重して、その人らしく生きられる社会をつくっていけると、私たちが生きやすい社会になるでしょう。

## 性別役割分担を見直す

社会的・文化的につくられた性別による役割を担う、というと身近なこととは感じられないかもしれません。しかし、性別役割分担は私たちの身の回りでよく見かけます。ある大学で調査をしたところ、「重い荷物を持つのは男性である」では7割の学生が、「リーダーはたいてい男性である」「料理やコンパの後片付けなどの世話役割は女性が行う」などの項目ではいまだに3-4割の学生が、「そう思う」と回答しています。このように私たちの日常生活の様々な場面で、それを意識するかどうかは別として、性別によって与えられる役割を担っていたり、誰かの行動に対して性別による役割を期待しているのです。

なぜ、大学生たちにこのような性別役割分担が生まれたのでしょうか。シモーヌ・ド・ボーヴォワールという有名なフランスの哲学者の言葉に「人は女に生まれえない、女になるのだ」というものがあります。これは、社会が「女性」あるいは「男性」にそれぞれ「一連の性格と態度と行為の類型」を割り振り、その社会で生きている人は自分の性別の認知にしたがって、割り振られた「一連の性格と態度と行為の類型」を学習していく結果、「女らしさ」「男らしさ」を身に着けていく、ということを表した言葉です。小さい頃から、その社会において女の子とはこういうものだ、男の子とはこうあるべきだ、といった社会的・文化的につくられた性別による役割を「学習」した結果、男性は男らしく振舞い

その期待される役割を担い、女性は女らしく振舞い期待された役割を担うようになるといったことを指しています。それぞれの社会が男性や女性の役割を創り出しているので、男らしさや女らしさは社会によって違うということも意味しています。

もちろん、性別役割分担を見直すということが、男性がリーダーを担うこと、女性が料理をすることなどすべてを否定しているわけではありません。でも、女性がリーダーをやりたいな、と思っても女の子らしくないからやめておこうとか、男性が小さい子が好きで世話をしたいなと考えていても、女っぽいと周りから言われぬか、と思っ出来ぬ。そんな風に自分の生き方を制限したり他の人の生き方を制限することのないようにすることが大切なのです。男／女に「生まれたから」といって、男／女に期待される役割を演じる必要はなく、あなたはあなたらしく生きていこう、他の人にも「男なんだから」「女なんだから」と役割を押し付けるのはやめよう、という考え方です。

「いろいろがたのしい」では、それぞれの個性を尊重したいろんなジャンプがあって、お互いがそれを認め合って、皆が楽しくなるといいね、という気持ちを込めたお話になっています。

## 男女共同参画社会を目指す教育

家庭の中でも学校の中でも、子どもたちは親や教師の言動を学んでいます。男女共同参画社会を実現するためには、1人1人が男女共同参画についての意識を持つことが必要です。こうした意識を育てるために、教育が果たす役割は極めて重要です。言うまでもなく、男女共同参画社会を目指す教育は、すべての人を中性化したり画一的な人間を育てたりすることを目指すものではなく、むしろ、性別にかかわらずすべての人が多様な存在であることを認め、真の意味で多様な個性を發揮できるようにすることを目指しています。

## ジェンダーとは？

ジェンダーとは、「女とは・男とは、こういうものだ」という社会的・文化的につくられた通念に基づいた男女の区別で、生物学的な性別であるセックスとは区別して使う。「女は家事・育児」「男は仕事」などの性別役割分担意識もジェンダーに発するといわれる。男女共同参画を進める上でも、ジェンダーによって人々の多様性、可能性がばまれていないか、あらゆる場面で見直すことが求められている。



## あなたの男女共同参画意識を チェックしてみましょう

あなたの考えとあてはまる記号を  
左の欄に記入してください。

そう思う     そう思わない



- 女の子には高学歴は必要ないと思う。
- 「男のくせに」「女のくせに」「男なんだから」「女なんだから」という言葉をよく使う。
- 職場でお茶出しや掃除を女性だけが行うことを特におかしいとは思わない。
- 男性は、「家庭第一主義」よりも「仕事中心主義」の方が望ましいと思う。
- 女性（妻、母など）が家事、育児に追われ、自由な時間がとれなくても、しかたがないと思う。
- 夫が妻に、なぐる、蹴るといった身体的暴力をふるうことも、時には必要だ。

**「そう思う」が多かった人**

もう一度自分の中にある「~らしさ」について考えてみませんか。

# 誰かに相談したくなったら…

子育てに悩んだら、いつでも相談できます。  
お気軽にお電話ください。

## 家庭児童相談室

☎048-259-9005

月～金曜日 8：30～17：15(祝日・年末年始休み)

※相談員による受付時間 9：30～16：30

## 子ども家庭相談室 土曜日 9：30～16：30(祝日・年末年始休み)

南平子ども家庭相談室 ☎048-225-6848

芝 子ども家庭相談室 ☎048-268-7675

戸塚子ども家庭相談室 ☎048-294-7300

## 川口市保健所地域保健センター

☎048-256-2022

月～金曜日 8：30～17：15(祝日・年末年始休み)

## 埼玉県南児童相談所

☎048-262-4152

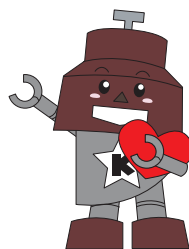
月～金曜日 8：30～18：15(祝日・年末年始休み)

## 子どもスマイルネット (埼玉県福祉部こども安全課)

子育ての悩みやいじめ、体罰など、子供に関するあらゆる相談を電話でお受けします。

☎048-822-7007

毎日 10：30～18：00(祝日・年末年始を除く)



川口市マスコット  
「きゅぼらん」



リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。



令和3年7月発行  
企画・発行／川口市 市民生活部 協働推進課  
〒332-0015 川口市川口1丁目1番1号 キュボ・ラ本館棟M4階  
電話 048-227-7605  
絵・岡田 行生